



申
B
号

JR東日本グループの安全文化を再構築し、地域・社会から信頼される輸送サービスを実現する緊急申し入れ

9/26 提出

車両整備作業におけるデータ改ざんにより、国交省による「特別保安監査」相次ぐ三大労災や事故・事象 等

「究極の安全」は危機的状況

申し入れ項目

1. JR東日本で発生している車両整備作業における不正問題、繰り返し発生する事故・事象に対する見解を具体的に明らかにすること。また、積極的情報開示を行える風土改善を図ること。
2. 安全マネジメント体制の強化を図り、安全第一の職場風土の確立をもって鉄道輸送への信頼回復に努めること。

国土交通省「特別保安監査」実施へ

当時の労働組合が「改ざん」を指摘するも 頑なに「修正」と一点張りしたJR東日本

JR東日本経営の思考はもはや正常と言えない事態

JR東日本は「社内の基準で安全が確保されていた」ことを理由に国への報告や世間への公表を行わなかったものの、国交省は「安全確保の仕組みを根底から覆す行為だ」として、JR東日本の経営判断を真っ向から否定しています。

さらに当時、組合からこの問題を指摘するも「改ざんではなく修正である」とした上で「安全性に問題ない」と書き換えを繰り返していました。

どうか、もう一度、真の「安全第一」を安全・顧客・現場軽視の姿勢を改め、公共交通機関としての責務を果たすべきだ!!!

9月19日 東北新幹線はやぶさ・こまち6号 古川・仙台間で列車分離が発生

9月26日 新幹線統括本部へ緊急に申し入れる!

1. 東北新幹線において発生した「列車分離」に対する見解を具体的に明らかにすること。また、原因究明による再発防止策を講じ、鉄道輸送への信頼回復に努めること。

高速走行中の新幹線が「分離」するなど決してあってはならない! 新幹線の「安全神話」が危機的状況!

新幹線の安全・安定輸送とJR東日本の信頼回復に向け徹底した具体的対策が求められている!

早急に原因究明と然るべき対策を講ずることが求められている

同日、新幹線地本も新幹線統括本部に対し東北新幹線において発生した「列車分離」に対する原因究明と再発防止を求める緊急申し入れ



新幹線の「安全神話」も危機的状況!

人事施策によって「安全」に対する感性を磨き、仕事の本質を理解することが軽んじられている!

JR東日本の信頼回復に向けて

安全マネジメント体制を再構築し、

“命”を預かる鉄道事業者としての使命と責任を果たすことが必要だ!